

朗読会

令和二年二月二十二日(土曜日)十四時～十五時

場所……

文豪 志賀直哉し が な お やの歴史小説「赤西蠣太あ か に し か き た」を朗読します。

担当 岡部 高明

赤西蠣太



(写真はイメージです。)

仙台藩の、いわゆる「伊達騒動」を背景にした短編小説です。

伊達兵部の江戸屋敷に間者として潜入していた赤西蠣太。怪しまれずに密書を持って国元に戻るために一計を案ずる。

醜男の自分が美しい腰元、小江(さざえ)に付文をして面目を失い、夜逃げするという目論見(もくろみ)なのだが、果たしてその結果は如何に……。

志賀直哉は、明治から昭和にかけて活躍した日本の小説家。白樺派を代表する小説家のひとり。「小説の神様」と称せられ多くの日本人作家に影響を与えました。